



▶ 令和2年9月 決算議会代表質疑 ▶ 決算特別委員会

■ 議員報酬2割を削減する条例を提出するも否決！

財源約1億 5600 万円を捻出し、「新型コロナウイルス対策」として活用することを目的とするため、「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例」いわゆる『神戸市会議員の報酬2割を1年間カット』する内容の条例を、私、いさやま大介を含めた 14 名が提案議員となり議案として提出しました。委員会では「継続審議」となりましたが、本会議では賛成少数で否決されました。

賛成 28 名
反対 40 名

■ 「あたたかい中学校給食のモデル」を視察しました！

・副食（おかず）のうちメインの主菜について、保温機能のある食缶を活用して温かいまま学校に配送し、教室でランチボックスに取り分けて給食を提供する「あたたかい給食」のモデル実施が行われました。
・今後は、隣接する小学校の給食室から中学校に給食を配送する「親子調理方式」が、3校にてモデル実施されます。



▶ 給食を配膳する様子

■ 議員インターンを受け入れました！

若い学生に政治、議会に興味をもってもらう目的で、大学生インターンを4名受け入れました。議会の仕組みを勉強したり、灘区長との懇談をはじめ多くの方々からレクチャーを頂きました。灘中央市場の防災空地では、地元企業の協賛をいただきながら、チャリティーイベントを開催し、地域での活動も充実させました。



▶ 珈琲チャリティーイベント

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東
TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp



令和2年9月 決算議会代表質疑



発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町 6-5-1 1号館 26階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.22

神戸の自然を活用した野外活動の推進！！

教育・地域

質疑のポイント

- ☑ 学校臨時休業の長期化による子供のストレス対策として、地域住民が実施する子供向け屋外プログラムに対し助成金が交付された。
- ☑ 豊かな自然での野外活動を見直すきっかけになったのではないかな。
- ☑ 神戸の自然を活用した野外活動の取組をさらに推進すべく制度を拡充し、周知徹底をはかり、取り組むべき。

【市長】学校の臨時休業が長期化する中で、子供が野外で過ごせる環境を提供するために、地域住民や団体が行う子供向け野外プログラムを約1か月間募集をした。延べ 53 団体がスポーツや自然体験など多様なプログラムを実施し、延べ約 2,000 人の参加があった。新型コロナウイルスの影響により従来の生活様式が大きく変化中、野外活動が見直されている中、これを拡充し、政策としてこれを練り上げていく。



質疑のポイント



- ☑ 学校行事における自然の中での野外活動が、教職員の働き方改革の影響を受け減少しており、子供の教育への影響が心配である。
- ☑ 民間事業者の活用も視野に入れながら、野外活動の機会の確保について改めて検討すべき。
- ☑ 小学校の高学年で野外活動を行ってきた施設「神戸市立自然の家」について、施設の位置づけを明確し老朽化対策と運用方針を検討すべき。

【教育長】小学5年生が自然学校、6年生が冬季野外活動、中学校では1、2年生が2泊3日程度の野外活動を現状実施。民間事業者にもさらなる協力をもらい、神戸の自然に親しみ有意義な野外活動を体験できる機会を確保できるように努めていく。
【副市長】施設はかなり老朽化が進んでいると認識。豊かな自然の中で安心して利用でき、青少年の教育を目的としながら、六甲山・摩耶山の活性化にも寄与するような野外活動施設となるよう検討する。



▶ 摩耶山上にある穂高湖